

会長年頭挨拶

さんえすクラブ会長 (株)豆彦 今井 義人



さんえすクラブ会員会社の皆様明けましておめでとうございます。

輝かしい新年を迎え謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年来サブプライムローンに端を発したアメリカ発の金融危機が世界中に蔓延して、外需依存、アメリカ依存の日本経済に暗い影を落している年頭であります。实体经济も不況のトンネルに突入するのは間もなくであります。

会員会社の皆様の周辺にもなんらかの影響が及んでいるものとお察しいたします。

このような厳しい状況下ではありますが、さんえすクラブ会員会社の皆様には日頃培った消費材開発のノウハウと、確立した技術力やサービスで、確かな消費材を生活クラブの組合員に供給し、材の優位性を高めて組合員の信頼を勝ち取り、より結集を高めてかかる難関を乗り越えていただきたいと思います。

皆様のこの一年のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

さんえすクラブ交流会を開催しました。

複数の会員によるコラボ企画の実現です。

去る2008年9月10日(水)茅ヶ崎コミュニティホールにて、湘南生活クラブ消費委員会主催により、記念すべき第一回の交流会企画が実施されました。

今回は、湘南生活クラブ生協のクリスマス・正月用品利用推進企画にタイミングよくマッチできたことで、108名というかつてない大勢の方々に参加して頂きました。そんな賑やかな会場の中で、組合員の方々の熱気のすごさを、そして、用意されたクリスマス・正月料理とパンフレットの多さにその準備力を、ともに強く感じました。

湘南生活クラブ消費委員会の目的は、コモンズ・デポのリーダーに「国産」をメッセージした、「クリ正サロン」のモデルを提案し、生産者の国産への思いを直接聞いて、伝えていくきっかけとするということで、広い会場を、出席者席、演壇スペース、試食用ブースにレイアウトして、演壇でのアピールとブースで試食をしながらの意見交換が行われました。

さんえすクラブからは、(株)豆彦の今井義人会長の挨拶に続いて、出席した4生産者によるアピールとなり、皆さんが時間内でポイントをつかみ丁寧に話されていました。

(株)浜食さんは、顔の見える野菜とシンプル原液で作る漬物の素晴らしさを。

(株)泰山食品商工さんは、自給率と漁場の移動、添加物という魚にまつわる実態を。

共生食品(株)さんは、大豆の実態と連携の大切さ(消費者+加工生産者+農家)を。

(株)秋川牧園さんは、はりま鶏の良さと餌高騰の実態などを。

それぞれが熱く語られていました。

互いの話を聞くことで、これから交流会を持つときの自分の参考にも大変役立つと感じました。

情報部会 (株)カジノヤ 田島 敏夫



参加生産者コメント

(株)浜食 中村秀一郎氏

組合員の方の活気を強く感じました。今後、さんえすクラブが主体となって開催していく企画に大いに参考になりました。

(株)泰山食品商工 古賀 茂敏氏

組合員と直接話せ、消費材を身近に感じて頂いたと思います。これからも安心、安全な消費材を提供していきます。

共生食品(株) 小林 利明氏

今回は、もともと進行していた湘南生活クラブ生協の企画と共同することで、成功することができました。

(株)秋川牧園 甲斐 利光氏

食を語ることは生命を語ることと同じだと思いました。これからも大いに語りましょう。



■主催者の感想

「クリ正活動」で、「国産」にこだわって、共同購入をおおぜいで進めていこうというメッセージを伝えることができました。また、生産者からの直接の話が参加者のこころに残って、元気に組合員に伝えていこうという思いを強くすることができました。

■参加者（組合員等）の意見

4生産者の生の話が一度に聞いたことに対する評価が高かったです。また、ブースで試食をしながら気軽に生産者と話げできたこともよかったです。

■今後に向けた意見等

- さんえすクラブ交流会企画を湘南のクリ正スタート集会にアレンジさせていただいたので、目指すところが達成できた。
- 一度に4生産者の話を聞くことができたので、参加者の満足度が高かった。生産者と直接話をするので、より消費材が身近になり利用が高まると思うので、生産者交流会は、利用結集の場面では効果的。
- さんえすクラブのことを初めて知った組合員もいたので、さんえすのアピールになった。
- ただ試食をして4生産者の交流会を行うのではなく、今回のように、テーマを持って組み立てることは大事だと思う。
- 生産者も話をコンパクトに25分で組み立ててくださったので、生産者の立場からは、言い足りない部分があったかもしれないが、短時間で充実した内容だったと思う。



▶いよいよ本格始動となりました。

08年12月より、交流会が活発に開催されております。

情報部会では、開催地に必ず部会員を配置して、会場の様子を写真に撮り、報告書を作成しています。これらの情報は、事務局に会員間で共有できる記録として保管するとともに、皆様のご意見により、チラシやWebに掲載する等して、生活クラブ、福祉クラブ内外へ発信していくことも考えております。

流れるような進行で盛りだくさん▶
～横浜北生活クラブ～



◀組合員の方々が3グループに分かれて、生産者毎の3つの会場で順番に学習、最後はメイン会場で試食会

交流企画報告&予定

1. 地域生協：湘南生活クラブ生協 主催：消費委員会

企画名称：湘南発★クリ正サロン〜いつもと違うクリ正サロンを開きたいあなたのために〜

実施日：2008年9月10日(水) 11:00~14:00

会場：茅ヶ崎コミュニティセンター

参加者数：組合員96名 職員3名 ワーカーズ1名
生産者8名 合計108名

生産者名：(株)浜食、(株)泰山食品商工、共生食品(株)、
(株)秋川牧園

2. 地域生協：かわさき生活クラブ生協 主催：消費委員会

企画名称：さんえすクラブ交流会

実施日：2008年12月12日(金) 10:00~12:00

会場：高津センター

参加者数：組合員38名 職員2名 生産者6名
合計46名

生産者名：(有)カワグチ企画、(株)東京カレント、
(株)ニッコー

3. 地域生協：横浜北生活クラブ生協 主催：理事会

企画名称：さんえすクラブ交流会

実施日：2008年12月15日(月) 10:00~13:00

会場：緑センター

参加者数：組合員47名 職員1名 理事17名
生産者7名 合計72名

生産者名：共生食品(株)、(株)浜食、(株)カジノヤ

4. 地域生協：さがみ生活クラブ生協 主催：消費委員会

企画名称：本物の産直実感講座

実施日：2008年12月16日(火) 10:00~12:30

会場：おださがプラザ

参加者数：組合員36名 職員1名 生産者5名
合計42名

生産者名：(株)泰山食品商工、(有)カワグチ企画、
(株)エコ・グリーン

5. 地域生協：横浜みなみ生活クラブ生協 主催：消費委員会

企画名称：さんえすクラブ交流会

実施日：2009年2月17日(水) 10:00~

会場：港南センター

生産者名：(株)カジノヤ、(株)豆彦、(有)ライフ・アート

詳細は交流企画申請書及び報告書により閲覧できます。
問合せ先：生活クラブ生協 事務局 松谷様

さんえすクラブ会員紹介

株式会社 カジノヤ

所在地：神奈川県川崎市麻生区岡上488-1

事業内容：納豆製造

主な取引先：生活クラブ神奈川、生活クラブ連合会、福祉クラブ、その他

カジノヤは1946年（昭和21年4月）に梶商店として発足いたしました。当時は納豆原料になる大豆栽培をする農家が周に多くあり、こうした原料を使用して納豆製造を行っておりました。このように農業も盛んな時代、1980年（昭和60年）にクラブ神奈川の職員椎名さんが自分たちの大豆を持ち込み、この大豆（中粒）で納豆製造が始まりました。

そして供給を始めてもうじき30年、今ではクラブ米の主産地JA庄内の多くの方々に大豆を栽培して頂きこれを原料とした（小粒・極小粒）納豆を組合員の方々に供給させて頂いております。今年で4年目、これからも庄内でより多くの大豆がとれ、組合員様へ供給する納豆全てが庄内産原料大豆（栽培者が見える）になります事を願っております。

これからも安心安全で美味しい納豆を造り続けてまいりますので宜しく御願い致します。



役員会報告

さんえす事務局長 佐藤 丙午
(有)ライフアート

■第22回さんえすクラブ定期総会について

2008年10月10日、新横浜生活クラブオルタナティブ生活館にて、第22回定期総会を開催しました。当日は欠席する会員も見られましたが、生活クラブ生協との連携強化や生活クラブ各地域生協、福祉クラブ生協との交流企画の開催などの活動方針が承認されました。

また、今期は役員改選期ではありませんでしたが、活動の活発化のため、役員変更と事務局の新設を下記の通り提案し決定しました。

1. 変更後役員

会 長 今井 義人 (株式会社豆彦) 副 会 長 山崎 貞雄 (株式会社ニッコー)
事務局長 佐藤 丙午 (有限会社ライフ・アート) 常任幹事 中村秀一郎 (株式会社浜食)
会計監査 田島 敏夫 (株式会社カジノヤ)

2. 事務局員

事務局長 佐藤 丙午 (有限会社ライフ・アート)
情報部会リーダー 山田 恵介 (株式会社佐藤印刷所) 交流企画部会リーダー 川口 圭 (有限会社カワグチ企画)
事務局員 小林 利明 (共生食品株式会社) 入間川裕也 (株式会社エコ・グリーン)

2009年3月には定例の研修会開催を予定しております。今回は、本格的な交流元年として、生活クラブ並びに福祉クラブ、並びに会員相互の活発な意見交換や交流を行い、より充実した実り多き内容としたいと役員、事務局員一同思いを一つにしております。

情報部会報告

情報部会 瀬山 幸彦
(株)オリマツ相模原営業所

弊社は食品包装資材業者ですので、他のさんえすクラブ会員の企業様とは異なり、純粋な生産者ではございませんが、平成20年8月発行のさんえすクラブ会報「生き活きさんえす」創刊号発行に至るまでの過程におきまして、既に完成されている会員同士の深い繋がりに触れ、助けられてまいりました。今後も生活クラブ組合員の皆様との交流におきまして、微力ではございますが、お手伝いさせていただきたく存じます。

交流企画部会報告

交流企画部会長 川口 圭
(有)カワグチ企画

ついにさんえすクラブ交流会がスタートしました!!! 私は2会場に参加しましたが、参加組合員集めや会場準備などたくさんの組合員の方々協力のもと盛大に行われました。一生懸命に話を聞き、メモを取ったりと熱心さに感動を受け、さんえすクラブや消費材のアピールができました。交流会を行ったことは大成功で、未来に繋がっていく大事な活動だと改めて感じました。会員1人1人が考え、これからの交流会を楽しく作っていきましょう。

■会費改定アンケート集約結果

先般会員の皆様にはアンケートをお配りしましたので周知徹底しているものとおもいます。

●会費改定の提案理由

- 現行の会費額では会の活動が制約される。
- 第20回総会で承認された「情報部会」「交流部会」の活動を維持できるか。
- 今後企画される活動の拡大が計れるか。
- 又、現在役員会、諸行事参加の諸費用が個人負担で賄われているのは公平の原則に反しないか。
- 会の事務用諸経費が生活クラブに依存している現状では「会の自立」や「継続」ができるのか。

以上問題点の一部を列挙しました。活発なご議論をお願いします。

◆アンケート集約結果

現行会費、適正78.5%、高い7.1%、安い14.4%。

改定するとしたら、一律38.5%、売上高に準ずる15.4%、正会員準会員に分ける23.1%、その他23.1%。

値上後の会費の額は、3万円40%、5万円20%、10万円7.7%、現行2万円でよい20%。

付帯意見が多数あります。紙面の都合で他の機会に。2008年12月9日現在、提出会社14社での調査結果です。

◀ 2008年11月末現在 ▶

1. 生活クラブ組合員人数報告 (11月末)

班・戸配 50,891人
デポ一 19,430人
計 70,321人
4～11月拡大数 1,869人

2. 生活クラブ供給報告 (4～11月累計)

班・戸配1,112,980万(前年比105.0%)
デポ一 307,250万(前年比102.0%)
計 1,420,230万(前年比104.3%)
一人当たり利用金額
班・戸配 27,767円

デポ一 19,934円

3. 福祉クラブ報告

組合員人数 15,201人 (11月末)
供給高 (4～11月累計) 170,340万
(前年比 99.1%)
一人当たり利用金額 14,070円